

11月25日10時～12時、神戸クリスタルタワー6Fひょうごボランティアプラザにて、「地球環境改善関連映画・名画座」の第1回目の試みとして、「不都合な真実2」を上映し鑑賞しました。

当日はカレッジ現役生・卒業生11名と、創エネ神戸は山田、今橋、富田、三上、香川、小嶋省、伊賀、中里、岡本の9名が参加しました。

今橋の司会により、地球環境改善関連映画 不都合な真実2 を上映しました。



最初に、山田より創エネ神戸の活動内容の紹介を行いました。



「不都合な真実2」は、気候変動と環境問題に焦点を当てたドキュメンタリー映画で、アル・ゴア 元米副大統領が新たな洞察と解決策を提示した映画でした。



【映画のポイント】気候変動の現実:地球温暖化が急速に進行し、その影響が世界中で猛威を振るっています。

急激な気象、海面上昇、生態系への影響などが明らかにされています。

○環境への影響:気候変動が環境に及ぼす影響に焦点をあて、生態系の変化、野生動物への悪影響、海洋の酸性化などを指摘しています。

○解決策:映画は、気候変動への対応策や再生可能エネルギーの活用方法を通じて、持続可能な未来の構築に向けた行動の重要性を訴えかけています。

○個人の役割:個人としてできること、エネルギーの節約、廃棄の削減、環境に優しい行動の選択など 我々が貢献できる方法が問題提起されています。



氷河が溶けています。



大雨による洪水による被害

森林火災



多くの人に対策の重要性を力説していました。





アル・ゴア 元米副大統領はCOP21パリ協定（第21回気候変動枠組条約締約国会議）の締結に尽力していました。

映画終了後に感想、意見の交換会を設け、参加された方々から活発な意見が寄せられました。



【参加された方々からの感想等】

参加者に記入頂いた「振り返りシート」には、『映画を見ることが出来て良かった』、『映画の内容に感激した！』、『地球温暖化未然防止活動を皆で進めていきたい』など、のご意見が多数見受けられました。

うち1名の方から、創エネ神戸の活動について『一緒に活動したい』との積極的なご意見も寄せられました。



(写真 三上博之、岡本紘一)
(文、編集 岡本紘一)